多摩北ブロック

小平東村山、清瀬久留米、西東京、村山大和

地域密着型で活動

安定の1750人支部を

西東京

【西東京・書記・高村龍之介通信員】4月15日にタクトホームこもれびGRAFAREホールにて、第63回西東京支部定期大会は、代議員35人、来賓6人の参加で開催されました。

2022年度は「新組織拡大・確立強化の3カ年計画」の最終年として、建設産業再生など私たちの求める要求実現とそれを支える組織強化、仲間づくり運動を展開し、地域密着型1750人支部をめざし活動してきました。

住宅デーなどの活動が徐々に再開してきたなかで、「一人の仲間も取り残さない」組合活動で仕事と暮らしなどで組合員・家族、未組織の仲間に寄り添う運動を展開し、組織拡大運動についても月間および年間目標を達成することができました。

あいさつをする唐鎌委員長

そして2023年も、安定した1750人支部を建設することを確認しました。新四役は次のとおり。委員長・唐鎌昭二。副委員長・柴崎憲一、藤原孝佳、山田誠。書記長・島崎慶一。書記次長・関真太郎、渡辺裕介、山内真実。

その後、組合員の表彰と新役員体制の発表があり、最後に団結ガンバローで大会が閉会しました。

新四役は以下のとおり。委員長・井上清一。副委員長・飛田重夫、谷口庄一、菊池智彦。書記長・石塚一広。書記次長・奥田八志、増田邦彦。

小平東村山

「10分間群会議」成功で

つながり深めよう

【小平東村山・書記・小野健太通信員】小平東村山支部では4月16日に小平市福祉会館にて、第7回定期大会を開催。代議員・特別代議員をあわせた81人のほか、3人の来賓が参加しました。

全体会では、執行委員長、来賓の方々のあいさつの後、基調報告が行なわれました。2023年度は、コロナ禍から脱し、仲間が集まれば「頼もしい・楽しい」組合の取り組みを伝える「10分間群会議」を成功させ、若手との対話をくり返すことで、つながりを深めていくことを基本方針として提案。対話時間を確保するために、納入方法についても検討していくことを確認しました。

清瀬久留米

KIYOKURU運動で

プラスワンめざす

【清瀬久留米・書記・村井瑛道通信員】4月9日、成美教育文化会館グリーンホールにて清瀬久留米支部第55回定期大会を代議員71人の参加で開催。仲間・地域とのつながりを強める「KIYOKURU運動」で、現勢プラスワンをめざす方針が提案、承認されました。

2019年以来4年ぶりとなる一日・分科会ありの開催となり、参加者からは「歓談するように意見交換ができた」「具体的な困りごとを聞くことができた」などの感想が寄せられました。最後は、本大会をもって退任する五十嵐副委員長の音頭による団結ガンバローで終了しました。

新四役は次のとおり。委員長・前川達夫。副委員長・尾芦富雄、徳武弘士、川村裕也、笹原康弘。書記長・小田澤陽一。書記次長・望月慎一郎、本島厚司、高倉一歩。

村山大和

全員が力を合わせて

3つの柱で前進

【村山大和・書記・小池義博通信員】4月16日に東大和中央公民館ホールにて、村山大和支部は第56回定期大会を開催。来賓含む100人の参加がありました。はじめに宮澤委員長が、「組合員全員で力を合わせて前進しよう！」とあいさつ。その後、設計労務単価の問題や東大和市のリフォーム助成金制度の復活に対する話などの事前質問について、回答がなされました。

2023年度は、①新たな役員を作り出すきっかけを作る②安定した2000人支部をめざす③引き続き新しい形のできる事を見つける。これらを3つの柱として運動を進めて行くことを確認。大会終了後は出陣式を行ない、大田組織部長より目標達成にむけての決意表明があり、団結ガンバローで閉会しました。

新四役は次のとおり。委員長・宮澤良明。副委員長・荻野輝明、大田穣充、亀澤明子。書記長・白倉良道。書記次長・唐澤孝輔、植木博一、小池義博。

城北ブロック

板橋、豊島、北、練馬

練馬

4年ぶりに分科会

3分会が活動経験報告

【練馬・書記・梶勝文通信員】4月2日、ココネリホールで第66回練馬支部定期大会を開催。合計260人が参加しました。

福岡委員長のあいさつに続き、池田書記長が基調報告。組織増勢に向けた組織強化・拡大、仲間の暮らしと仕事を守る運動の推進、軍拡・憲法改悪阻止など2023年度の方針を提起しました。その後、3つの分会が活動経験報告（事業所分会の活動、住宅デー、健診受診の推進）を行ないました。

今大会は、4年ぶりに7つの分科会を開催。各専門部の総括と方針について、時間をとって討議することができました。

大会会場のようす

新四役は次のとおり。委員長・福岡忠行。副委員長・肥野信彦、和嶋英人、上原良子、伊藤慶一郎、三角真弓。書記長・池田直隆。書記次長・佐藤大地、亀川佑介、友成京介。

大会では、3年目をむかえた新型コロナウイルス感染症拡大と、生活物価の高騰に加え、資材と燃料の価格高騰のため仕事と暮らしが困難な状況下で、運動の到達点を総括し、新たな運動方針を確立しました。

また、「建設アクション運動」の一層の前進と、地域の多数派結集のための「強固な組織づくり」、分会・群の組織強化で実増を勝ち取る決意を新たにしました。

最後は3年ぶりに支部制定歌の斉唱を行ない、団結ガンバローで閉会となりました。

新四役は次のとおり。委員長・山本清志。副委員長・須賀朗、追川春夫。書記長・小林宙。書記次長・穴澤秀康、竹腰隆樹、書間弘之、森千恵子。

板橋

実増勝ち取る決意

全員で支部制定歌を斉唱

【板橋・書記・森千恵子通信員】4月9日、板橋区立文化会館をメイン会場に、板橋支部第67回定期大会を開催し、組合員111人・来賓31人が参加しました。

CCUS問題で発言

「東京土建全体で闘う課題」

豊島

【豊島・書記・仁田亮平通信員】4月9日に豊島産業振興プラザにて、第69回豊島支部定期大会を代議員67人の参加で開催しました。

議案討議ではCCUSについて、「2024年3月までに登録をしないと就労年数が蓄積されないなんてことは、我々建設職人に対する脅しであって断じて許すことはできない。東京土建全体でたたかうべき課題だ」と発言があったほか、大会の運営内容に対する意見も様々あり有意義な大会となりました。

表彰される澤田後継対部長（右）

宮本委員長から「安定した2100人支部の実現、分会・群の組織強化を図り、一丸となって取り組んでいこう」と訴えがあり、ガンバローで閉会。新四役は次のとおり。委員長・宮本卓廣。副委員長・遠藤正行、桑山浩司、梅澤光法、土橋弘典。書記長・大浦康昭。書記次長・村田勝利、寺島耕平、瀬谷祐太。

北

仲間の要求に応え

コロナ前の推進力復活

【北・書記・高橋伸明通信員】4月2日に北とぴあ飛鳥ホールにて、第75回北支部定期大会が開催されました。参加者は109人と来賓25人。

「仲間の要求に応え、相談に寄り添う」運動をさらに発展させ、コロナ以前の運動推進力の復活と、組織建設の確立をめざしていくことなどが書記長の2023年度方針として提案されました。

今回は感染に注意しながらも、代議員を以前の数に戻しコロナ前と同様の規模で開催する事ができました。分科会でも活発な意見を交換しました。運動方針案提案・予算案提案とも多数の賛成により承認となり、新書記長の団結ガンバローで閉会となりました。

新四役は次のとおり。委員長・渡辺勝二。副委員長・石川信一、中西昭一、宮下幸則、渡辺浩志。書記長・岡村茂寿。書記次長・井口和良。